

# HANAモデル

とは…?

教職員が共通理解を図ることで、事故を未然に防ぐとともに、事故等の緊急時には、迅速・適切な対応を連携して行い子どもたちのかけがえのない命を守りきる 取組です。

平成24年7月、京都市立養徳小学校の夏季休業中の水泳指導において、1年生の女子児童の尊い命を失わせるという大変痛ましい事故が起きました。この事故を受け、京都市教育委員会では水泳指導の指針を定めるとともに、事故の教訓を踏まえ、学校教育全体を通じた安心・安全と緊急事態が発生した際に、一人一人の教職員が適切に対応し、学校組織全体として対応できるよう取り組んできています。

こうした中で、特に、養徳小学校では、子どもたちの命を守りきるため、『事故の未然防止』と『緊急時の対応』に適切に取り組めるよう、教職員一人一人の対応力と学校全体としての組織力を高めるための仕組みを構築し、「実地訓練」を継続してきました。令和3年度には、この養徳小学校での取組をもとに、本市としての全市共通の取組として位置づけ、事故で亡くなられた児童のお名前を冠した『HANAモデル』という名称の下、各校での取組を進めています。

また、今後、ホームページ等でも掲載し、全国の学校でも参考となるように、発信していくこととしています。

## ■ 教職員が共通理解を図り、事故を未然に防ぐ

日常の取組

- 危機管理マニュアルの見直し・改善、校内での共有
- 安全の視点での指導計画の組織的な作成・共有
- 安全な教育環境の整備(定期的な安全点検等)
- 安全に関わる情報の共有、改善策の検討
- 事故を想定した「実地訓練」等(★参照)により教職員の意識や対応力を高める など

## ■ 事故等の緊急時には、迅速・適切な対応を連携して行う

緊急時の取組

### \* 迅速な初動対応

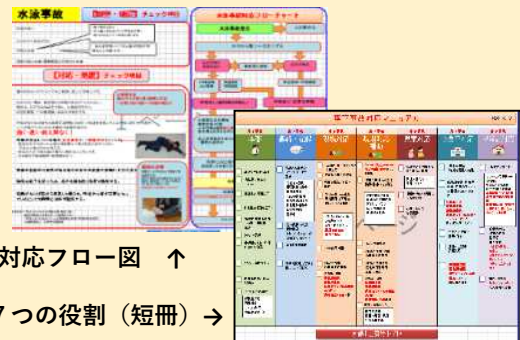
(適切な応急措置、的確な状況把握、必要な体制の迅速な確保等)

### \* 組織的な対応

(教職員間の連携、「短冊」を活用した有機的な対応等)

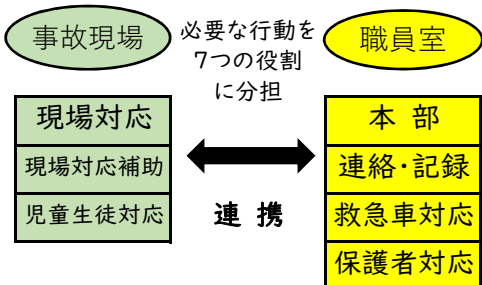
### \* 正確な情報の収集

(状況の聴き取りや対応の記録の作成・保存等)



対応フロー図 ↑

緊急時7つの役割 (短冊) →



現場対応

記録の作成・保存

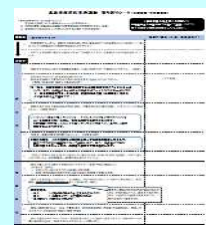


教職員間の連携

## ★ 万一の事故に備え「実地訓練」に継続して取り組むことが大切です

事故発生等、緊急時の対応が必要な場面で、適切に対応できる校内体制を構築するためには、緊急時を想定した「実地訓練」に継続して取り組むことが大切です。

訓練の内容は必ず振り返り、明らかになった課題は改善策を検討し、「危機管理マニュアル」や日常の取組等に反映させるなどの改善サイクルを回し、学校安全体制の充実を図ります。



↑ 訓練振り返りシート

# 緊急時の対応の流れ

